

# 鳥獣害防止対策について

和歌山県農業協同組合連合会

生産資材部 紀北農機資材事業所 坂口 知哉



## ●なぜ鳥獣害被害が多発するのか？

現在、県内で耕作放棄地が増加し、下草が繁茂してイノシシなどの獣は容易に身を隠すことができ田畑や家屋まで近づきやすくなっています。また、同時に餌場を提供することになり、餌の味を覚えた鳥獣が隣接する耕作地の作物を食い荒らすこととなっています。

現在は造林業が進み、山間部では落葉樹が広がり豊富であったエサが少なくなり鳥獣の生息が困難となったことと、人里では耕作放棄地の増加によりエサ場が広がり、鳥獣が見かけられるようになりました。

## ●和歌山県内での鳥獣害の被害状況

令和3年度で2億6千万円。被害にあった農作物の割合は果樹が79%、ついで野菜11%、水稲5%と果樹中心に被害が大きくなります。鳥獣害別ではイノシシで40%、シカで15%、サルで15%、アライグマで10%、鳥などその他で15%となっています。地域別では有田川町、湯浅町、紀の川市の順で被害が大きい状況となります。

## ●鳥獣種類について

### 1 イノシシ

#### (1)生態

基本的には昼行性だが人の活動の影響によって夜行性を示す場合があります。一夫多妻制で高い繁殖率があり春先から初夏にかけて2~8頭出産します。

#### (2)被害

果樹、野菜類、イモ類、水稲など30種類以上の農作物の被害が確認されています。雑食性で植物の根や土中の昆虫などを食べるため土を掘り起こす習性があり食害と併せて耕作地を荒らされる被害も多く確認されています。



## 2 サル

### (1) 生態

基本的には20～60頭の群れで行動し昼行性です。高い学習能力を備えておりエサの味・場所を記憶し、新たな場所には偵察でやってきてその後、群れで来るなど用心深い一面もあります。

### (2) 被害

果樹、野菜全般での被害が確認されています。食害以外にも果樹の樹皮への被害や水稻の倒伏被害も確認されています。



## 3 シカ

### (1) 生態

昼夜関係なく行動しており特に夜明け前と日没後にエサを求め行動が活発になります。毎年1頭を出産します。高い運動能力を備えており1.5mの高さを超えるジャンプ力があります。

### (2) 被害

田植え後の葉茎や収穫前の稲穂、野菜また、果樹苗木の新芽や枝を食い荒らす。樹皮への被害の確認も多いです。



## ●防止策について

### 1 電気柵

#### (1) 特徴

電気ショックによる痛みを与えることで動物は電気柵をキケンと認識して畑に近づけないようにさせるものです。

#### (2) 効果と留意点

イノシシ・シカ・サルなどに効果的です。留意点として電気柵から発生する電波に気を付けて、テレビ・ラジオ等の通信障害が発生しないようにすることです。また、草刈りを積極的に行い漏電の発生の防止、定期的に点検を行い断線や支柱の破損がないか確認し、破損があれば修復します。



### 2 ワイヤーメッシュ

#### (1) 特徴

電気柵と比較し、メートル当たりの設置コストは約2倍程度となりますが、維持管理が容易で耐久性に優れます。

#### (2) 効果と留意点

イノシシ・シカなどに効果的です。留意点としてシカ対策として飛び越えられないように地形に合わせて2m程度まで高さで設置します。小型の獣や幼獣の通り抜けを防ぐため10cm×10cm位の格子が望ましいとされています。JA から供給するメッシュは費用が大きくなるが、その地域に合わせた製品を供給している。





### 3 トタン板

#### (1) 特徴

維持管理が簡単なのが特徴です。

#### (2) 効果と留意点

圃場が見えにくくなるのでイノシシに効果的です。留意点として隙間を絶対に作らず飛び越えられない高さのものを設置します。破損箇所や隙間がないか定期点検をしてあればすぐ修理します。



### 4 サルよけネット

#### (1) 特徴

脚立を使わず高齢者でも簡単に設置ができます。

#### (2) 効果と留意点

サルはもちろん網目が小さいのでその他の小動物にも効果的です。動物の種類によって飛び越える・噛み切るなどの危険性があります。また、別途支柱も用意して取りつける必要があります。

